

(英語版)

(アラビア語版)

令和元年十二月

### サウジ・カタール・UAE間の磁場に微妙な変化

#### GCCサミットにカタール首相出席

GCC6か国の首脳が一堂に会する恒例のGCCサミットが12月10日サウジアラビアのリヤドで開催された。サルマン国王の呼びかけに応じクウェイト及びバハレーンから首長と国王が参加した。UAE及びオマーンはいずれもトップの健康状態が良くないため、UAEは副大統領兼ドバイ首長が、またオマーンは第一副首相が出席した。オマーンの場合、首相を兼務するカブース国王は会議直前にメディカルチェックのため、ベルギーに出国、14日に帰国している。カタールはタミーム首長本人が出席するかどうか注目を集めたが、結局Mozのアブダラー首相が代理出席したのであった。

カタールのタミーム首長は1979年生まれの40歳であり、6カ国首脳の中では最も若く健康そのものである。病気を理由に欠席を続けるUAEあるいはオマーンのトップとは異なりサミット出席には何の支障もないはずである。因みに今年90歳のクウェイト首長は9月に米国の病院で何度目かの治療入院を行っており写真で見ると限り明らかに衰えが目立つ。GCCの結束維持に執念を燃やす首長は病を押してサミットに出席しているのである。

#### GCCの磁場：引き合うサウジとUAE、反発するサウジ・UAEとカタール

カタール首長が欠席した理由は2年前にサウジとUAEがバハレーン及びエジプトを伴って同国と断交したことが原因である。この時4カ国はカタールに対して、イランとの外交関係のレベルをさげること、ムスリム同胞団と関係を断つこと、アルジャジーラを閉鎖するこ

と、トルコ軍の駐留を直ちに中止すること、など13項目の要求を突き付けた。カタールとしては到底容認できるものではなく、両者は断交して現在に至っている。

サウジアラビアとアブダビの両ムハンマド皇太子は宿敵イラン打倒を掲げて固く結束しており、このことが対カタール断交の基本にある。またイエメン内戦においてもサウジとUAEは国連が認めるハーディー政権を支持し、反政府勢力のフーシ派を支援するイランとの間で代理戦争の様相となり、イエメン紛争は泥沼化している。こうしてGCC内部の磁場はサウジとUAEが強く引き合い、この2か国とカタールが反発しあう構図を呈している。

#### **病身の体で調停に奔走するクウェイト首長**

このようなGCC内部の混乱した状況を懸念しているのが米国とクウェイトである。米国のトランプ大統領は今やイスラエルを脅かす唯一最大の脅威であるイランを抑え込むためGCCを最初の防波堤と位置付けている。GCCそのものはあまり頼りにならないため、米国は自国の空軍基地をカタールに、また海軍基地をバハレーンに設けている。さらにごく最近サウジの石油施設にイランとみられるドローン攻撃があったためサウジアラビアの要請に応じ米軍3千名を増派したばかりである。米国はカタールとサウジとの対立を看過できない。

またクウェイトはかつてフセイン政権時代のイラクに国土を蹂躪された苦い経験があり、外敵に対してGCCが結束する必要性を痛感している。このためサバーハ首長は病身の体でこれまでも幾度か仲介に奔走している。9月の米国治療時にはトランプ大統領との会談を試みているほどである。

#### **カタールと争う余裕の無くなったサウジアラビア**

ここに至りサウジアラビアの動きに変化が見え始めた。GCCサミットでは内外の諸問題に対する結束を掲げたが、カタールボイコット問題には触れなかった。サルマン国王はサミット前にトランプ大統領と電話会談を行っている。会談はその数日前にフロリダの海軍基地で発生したサウジ人パイロット訓練生による銃撃事件に対する謝罪と釈明が主目的であったと報じられているが、その時トランプ大統領からGCCの和解を強く指示(恫喝?)されたことはほぼ間違いないであろう。

またサミット以外の場でも今秋カタールで開催されたサッカーの湾岸カップでは試合をボイコットすることなく自国チームを送り込んでいる。これまでGCCの雄として力にものを言わせて牛耳ってきたサウジアラビアが明らかに弱気になっている。カシヨギ事件でサウジアラビアのイメージは大きく傷つき、汚職摘発に名を借りた政敵逮捕劇により国内民間財閥の信頼を失い、さらに石油を武器とするOPEC戦略もままならない現状で、サウジアラビアはカタールと争っている余裕はないのである。こうしてサウジとカタールの磁場は反発から融和に変わりつつある。

### サウジとUAE間に隙間風

しかしその反動としてサウジとUAEの間に隙間風が吹き始めた。UAEの *Gargash* 外務担当国務相はサミットの後、カタール問題の片がついた訳ではない、とツイートしサウジとカタールの和解の気配に不快感を示している。またイエメン問題を巡ってもUAEはサウジと一線を画す姿勢である。イエメン内戦でサウジとUAEは国連のお墨付きを得てアラブ連合軍を結成、イランが後押しするフーシ派反政府勢力を空爆し正統政府を支援してきた。しかしフーシ派と攻防を繰り返すうちに両国の立ち位置が変化した。即ちサウジがリヤドのイエメン亡命政府を支援したのに対し、UAEは勢力が正統政府より有力とされる南部独立勢力を支援したのである。事態はイエメン政府勢力の内部抗争に発展、フーシ派掃討どころではなくなった。意図せぬ成り行きにUAEは嫌気がさしてイエメンからの撤退を決定、後始末をサウジにゆだねた。イエメン問題でもサウジとUAEの間に隙間風が吹き出したのである。両国間の磁場は親和から反発に変わりつつある。

### 悠然と構えるカタール

サウジはカタールボイコットの当初、自己の圧倒的な力を過信し、いずれカタールが屈すると見ていた。ところがその後様相は一転、今ではサウジが慌てふためき、カタールは悠然としている。カタールはトルコから食料品を輸入し、またトルコ軍を駐留させることでボイコットの影響力を最小限に抑え込んだ。さらにOPECを脱退し天然ガスの増産とLNG拡販に力を注いでいる。最近ではマレーシアのマハティール首相が開いたイスラム国際会議にトルコのエルドガン大統領、イランのロウハニ大統領等とともに出席している。この会議についてはサウジアラビアとその息のかかったOIC(イスラム協力機構)が分派活動だとして強く反対したがカタールは意に介さない。

GCC内部の磁場が微妙に変化しつつある。GCCの結束が今後どうなるのか、はたまたGCCそのものが瓦解するのか、当分目が離せ



ない。

以上

本件に関するコメント「意見を公開させない」。

荒葉一也

[Arehakazuya1@gmail.com](mailto:Arehakazuya1@gmail.com)

---

<sup>1</sup> His Majesty the Sultan leaves for Belgium for medical check-up  
2019/12/8 Muscat Daily

<https://muscatdaily.com/Oman/385511/His-Majesty-the-Sultan-leaves-for-Belgium-for-medical-check-up>  
及び

His Majesty the Sultan returns from Belgium  
2019/12/14 Muscat Daily

<https://muscatdaily.com/Oman/385575/His-Majesty-the-Sultan-returns-from-Belgium>  
<sup>2</sup> GCC summit calls for greater economic and defense unity among Gulf countries  
2019.12.10 Arab News

<https://www.arabnews.com/node/1596771/saudi-arabia>

<sup>3</sup> ↳ポーター「カタール GCC 離脱の可能性も…カタールとサウジ国交断絶」(2017年7月)参照。

<sup>4</sup> Deployment of 3,000 US troops to Saudi Arabia almost complete  
2019/11/19 Arab News

<https://www.arabnews.com/node/1586641/saudi-arabia>

- 
- <sup>5</sup> Kuwait Amir continues medical tests, postpones Trump meeting  
2019/9/8 The Peninsula  
<https://www.thepeninsulagatar.com/article/08/09/2019/Kuwait-Amir-continues-medical-tests,-postpones-Trump-meeting>
- <sup>6</sup> GCC summit calls for greater economic and defense unity among Gulf countries  
2019.12.10 Arab News  
<https://www.arabnews.com/node/1596771/saudi-arabia>
- <sup>7</sup> King Salman leads Saudi official condemnations of Florida attack  
2019/12/7 Arab News  
<https://www.arabnews.com/node/1595296/saudi-arabia>
- <sup>8</sup> Qatar should address issues raised by four states, says Gargash  
2019/12/12 Khaleej Times  
<https://www.khaleejtimes.com/region/qatar-crisis/ⓁⓂ-minister-issues-statement-on-solution-to-qatar-crisis->
- <sup>9</sup> Organization of Islamic Cooperation: Malaysia meeting runs against Muslim community interests  
2019/12/18 Arab News  
<https://www.arabnews.com/node/1600941/saudi-arabia>